

総務企業委員会会議録

1 日 時 令和2年6月19日（金曜日）

午前9時30分～午前10時22分

2 場 所 委員会室

3 出席委員 猶野智和委員長 坪井康男副委員長
山中佳子委員 高木法生委員
岡山隆委員 村田弘司委員
山下安憲委員

4 欠席委員 なし

5 委員外出席議員

竹岡昌治議長

6 出席した事務局職員

石田淳司 議会事務局長 阿武泰貴 議会事務局係長
篠田真理 議会事務局企画員

7 説明のため出席した者の職氏名

波佐間 敏 副市長 田辺 剛 総務部長
藤澤和昭 総合政策部長 繁田 誠 観光商工部長
竹内正夫 総務課長 佐々木 昭治 財政課長
中嶋一彦 税務課長 早田 忍 企画政策課長
福田泰嗣 地域振興課長 千々松 雅幸 観光振興課長

8 会議の次第は次のとおりである。

午前 9 時30分開会

○委員長（猶野智和君） ただいまより、総務企業委員会を開会いたします。

さきの本会議におきまして、本委員会に付託されました市長提出議案 8 件のうち、本会議初日に可決した議案第50号を除く 7 件について審査いたしたいと思っておりますので、御協力をよろしくお願いいたします。

議長、報告などございましたらお願いいたします。

○議長（竹岡昌治君） それでは、6 月 9 日だったと思うんですが、議会運営委員会で決定をしていただきました。皆さんの総意の下で、コロナウイルス対策をどうするかということで、新聞紙上等には他市の動きもございました。

そこで、本市といたしましては、皆さんにお諮りしましたように、まず行政視察、それから政務活動費、これらを全て今期に限り中止をする、あるいは活動費についても申請をしないということで、その財源が約390万円でございますけど、市長のほうに先々日、申入れ書を持ってまいりました。コロナ対策に使っていただきたいという趣旨でございます。

なお、議会におきましては、残念ながら行政視察等を中止しましたので、会派並びに全員で研さんを重ねていくということも申し添えておきました。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） それでは、審査を始めます。最初に、議案第55号美祢市行政組織条例及び美祢市職員定数条例の一部改正についてを議題といたします。執行部より説明を求めます。竹内総務課長。

○総務課長（竹内正夫君） それでは、議案第55号美祢市行政組織条例及び美祢市職員定数条例の一部改正について御説明をいたします。

まず、美祢市行政組織条例の一部改正について御説明をいたします。

これは、世界ジオパークの認定に向け、Mine秋吉台ジオパークの国際的な価値の向上と地域での理解のさらなる浸透を図るとともに、秋吉台科学博物館の整備を一体的に推進するなど、教育分野におけるジオパーク活動を効率的、効果的に行うため、世界ジオパーク推進課を市長部局商工観光部から教育委員会に移管する組織の改編に伴い、条例の一部を改正するものでございます。商工観光部の事務分掌中、「ジオパークに関すること」を削除するものでございます。

また、世界ジオパーク推進課職員の異動に伴い、市長部局の事務部局の職員が

286人から282人へ、教育委員会事務局の職員が60人から64人に変更となるため、併せて美祢市職員定数条例の一部を改正するものでございます。

この条例は、令和2年8月1日から施行するものでございます。

説明は以上です。

○委員長（猶野智和君） 説明が終わりました。本案に対する質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

それでは、これより討論を行います。本案に対する御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 御意見なしと認め、討論を終わります。

それでは、これより議案第55号を採決いたします。本案について、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 全員異議なしと認めます。よって、議案第55号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第56号美祢市地域交流ステーションの設置及び管理に関する条例の一部改正についてを議題といたします。執行部より説明を求めます。福田地域振興課長。

○地域振興課長（福田泰嗣君） 議案第56号美祢市地域交流ステーションの設置及び管理に関する条例の一部改正について御説明をいたします。

初めに、当施設の設置について御説明をいたします。

平成22年7月の集中豪雨により、JR美祢線は甚大な被害を受けました。このことは、今なお多くの市民の皆様の記憶に深く刻まれていることと思います。

被災から2か月後の9月には、美祢市・長門市・山陽小野田市の沿線3市と関係機関が連携をして、早々に「JR美祢線利用促進協議会」を立ち上げ、再開後の美祢線の利用促進・利用拡大を図るべく取組が開始されております。

多くの方の願いを受け、被災から1年2か月という奇跡的な早さで復旧が実現をされ、これを受け、利用促進協議会では現在に至るまで様々な取組を展開しており、着実に成果を上げているところでございます。

このような機運の醸成の中、美祢市では、平成25年4月に於福駅・厚保駅の一部

施設をJR西日本より借り受け、地域交流ステーションを創設し、地域の方が中心となる団体が指定管理者となられ、地域コミュニティ活動を促進するとともに、地域と美祢線利用者との交流を促進することで利用拡大を図り、もって地域振興につながる活動を展開されております。

平成30年度実績では、延べ1万500人もの利用、交流がなされているところでございます。

さて、このたびの一部条例改正につきましては、現在の指定管理者の指定期間が今年度末をもって満了となりますことから、次期指定管理者の候補の選定にあたり、「使用料・手数料の見直しに関する基本方針」に沿って所要の改正を行うものであります。

いずれの施設にしましても、会議室と和室が整備をされておりまして、現在は、午前・午後・夜間等の料金区分ごとに料金設定をしておりますが、基本方針にある算定方法により、1時間当たりの単価設定に見直しをしております。

利用実績でございますが、いずれの施設も毎月平均20団体程度が利用されております。ほとんどの団体におきましては、施設の設置目的に合致する市内の団体でありますことから、全額減免対象となっておるところでございます。

なお、この条例は、新たな指定管理期間の開始に合わせ、令和3年4月1日から施行とするものであります。

説明は以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 説明が終わりました。本案に対する質疑はございませんか。岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 特に問題はありませんけれども、1時間単位ごとということ、非常に明確に分かりやすくなってきたかなと思います。

それで、午前8時から12時までで今まで金額が設定されておりましたけれども、今回1時間単位ということであります。

それで、こういう形で、1時間単位でやることによって、使用料が今までずっとそんなに大きく変わらないとは思っていますけれども、その辺の従来と変わらないという——その辺の捉え方と、もう1つは、こういった設定は、ほかの施設の使用料についても同じような形になっているのか、これからするのか。この点についてお尋ねしたいと思います。

○委員長（猶野智和君） 福田地域振興課長。

○地域振興課長（福田泰嗣君） ただいまの岡山委員の御質問にお答えをいたします。

この設定の料金でございますが、使用料・手数料の見直しに関する基本方針、これが定められておりまして、指定管理等に関するものは、これによって同じ考えの下に算定するというところでございます。それによって今回、見直しをしたという単価設定でございます。

利用の状況でございますが、先ほど申しましたとおり、ほとんどが市民の方であり、目的、地域の交流・コミュニケーションの場——コミュニティの場というところの設定でございまして、それに合致する団体が御利用になっております。

ですから、実際は、現状としましては、ほとんど利用料が収益として入る現状はございませんが、均衡を保って決定したというところでございます。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） ありがとうございます。

いずれにしても、これから指定管理料については、施設の大きさ等にもよりますけれども、1時間単位でやるということで、私たちはそういった心構えでおることが必要であるということを認識しました。

いずれにしても、今後とも、大きく今までの午前・午後、その単位——時間単位と1時間の利用料が大きく推移しないように、この辺の調整を市民の視点でしっかりと市民に益が与えられるよう、こういった利用料の設定を今後ともよろしく願いたいいたします。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。坪井副委員長。

○副委員長（坪井康男君） とても幼稚で素朴な質問です。

この利用料は、誰が誰に払うのでしょうか。とっぴな質問でごめんなさいね。一番基本のところを私が分かってないですから。

というのは、私今までずっと、厚保地域交流ステーションに毎回のように出ていました。そのときに、こういった料金は全く徴収されたことがありませんし——参加者ですよ。それがこうなると、今度どう変わるのかという素朴な観点からの質問です。こういうふうに提示されますと、誰が誰に払うのか、負担するのかと。

それから、指定管理料との関係はどうなるんですかという、一番根っこの質問です。よろしくお願いします。

○委員長（猶野智和君） 福田地域振興課長。

○地域振興課長（福田泰嗣君） ただいまの坪井副委員長の御質問にお答えをいたします。

まず、誰が誰にお支払いをするかということでございます。

これは、利用者の中で——利用される中で、一応ルールというものがございます。まずもって市民の方の御利用、そこで、この場を提供して地域の交流・コミュニケーションを図る、コミュニティの場として利用していただくことは、基本的に原則無料でございます。

ですから、これまで御利用があったということに関して申し上げますと、細かい内容は分かりませんが、そういった意味での無償、減免であったというふうに考えております。

どういう方の場合、利用料を徴収するかと言いますと、同じ考えであっても市外の方が利用する。これにつきましては、半額——2分の1を徴収するようになっております。

さらに、これは市民の方、市外の方も同じ考えでございますけど、利益を伴うもの、こういったものに関しては2倍のほうの料金を頂くということでございます。

現実にはほとんどといいますか、市民の方の利用がほとんどでございますが、なるべく利用していただいて、美祢線というものを知っていただいて、そこから何か交流が生まれると。たまに——たまにと言いますか、結構そういった方が多いですけど、美祢線を利用されて、ふと立ち寄られる方がおられます。そういった方との交流というものを意図しておりますので、そういった広がりも意図しておりますので、そういった意味で、特に市民の方については、美祢線を愛してもらうきっかけとなるのではないかというような設定でございます。

この料金は、どこに入るのかということでございますが、指定管理のほうの収入源として入りますが、現状はそういったことで上がっていることということは、ほとんどございません。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 坪井副委員長。

○副委員長（坪井康男君） 基本的なことは分かりましたが、私、今まで厚保地域の交流ステーションに隔月、あの地域に宮崎先生がいらっしゃいます。あの方の講演会とか報告会、とてもすばらしいものをやっておられます。それに毎回欠かさず参加しておりました。その場合は、私も美祢市民だし、無料だし、その場合は、指定管理料は、厚保地域交流ステーションの何とか会——経営主体にこの使用料が支払われていたのか。何だか、ちょっと頭の整理がつかないんですよ。具体的な例に即して、ちょっともう一度説明してほしいんです。

もう一度言います。厚保地域の交流ステーションに毎月、あるいは隔月で講師を呼んで、講演会なりが行われているんですよ。それに参加した場合に、この利用料というのがどのようなになるのか、ならないのかという質問です。

○委員長（猶野智和君） 福田地域振興課長。

○地域振興課長（福田泰嗣君） ただいまの御質問にお答えいたします。

今の——講演の主催者というものが施設を借りられる。その趣旨に沿って、利用料金を取るか取らないかということが決まります。

イベントなり講演なりに参加される利用料というのは、今度は主催者側——イベントなり講演なりの主催者側に入ってまいりますので、そこと地域交流ステーション等の収入のどうこうというのは、ないというふうに理解しております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

それでは、これより討論を行います。本案に対する御意見はございませんか。村田委員。

○委員（村田弘司君） 賛成の意見を述べたいと思います。

直接、この使用料とは関係ありませんけれども、非常に厚保・於福の地域交流ステーション、地域の振興のために役立っているというのを実感しています。

私自身が於福の駅に住んでおります関係上、地域の方が一生懸命これを運営されておる。それに伴って地域の方がたくさん来られて、振興に結びついているということ。

それと、コロナで3密を避けるために一時閉鎖されていましたが、それを皆

さん大変悲しがっておられて、早く開催されないかと——開館されないかと待っておられました。

これによって、美祢市の——美祢線の利用客が減っておるということで、22年の当時、私市長をしておりましたけれども、美祢線がなくなるというところまでいっておったんですが、この2つの地域交流ステーションをつくることによって、交流人口を増やすということで、JR西日本と交渉して存続につなげていった経緯があります。

ですから、この2つの交流ステーションが持つ意味というのは非常に大きいというふうに思っておりますので、これからもどうか、行政体として御支援をしてくださるように、意見として申し上げたいと思います。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 御意見なしと認め、討論を終わります。

それでは、これより議案第56号を採決いたします。本案について、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 全員異議なしと認めます。よって、議案第56号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第58号美祢市長等の給与に関する条例の一部改正についてを議題いたします。執行部より説明を求めます。竹内総務課長。

○総務課長（竹内正夫君） それでは、議案第58号美祢市長等の給与に関する条例の一部改正について御説明を申し上げます。

これは、市長選挙における市長の公約実現のため、市長の給与月額を令和2年8月1日から市長の任期中であります令和6年4月26日までの間、2割の減額措置を講じる改正を行うものでございます。

なお、期末手当・勤勉手当・退職手当につきましては、算定の基礎となる給与月額の減額の措置はございません。

この条例は、令和2年8月1日から施行するものでございます。

説明は以上です。

○委員長（猶野智和君） 説明が終わりました。本案に対する質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

それでは、これより討論を行います。本案に対する御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 御意見なしと認め、討論を終わります。

それでは、これより議案第58号を採決いたします。本案について、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 全員異議なしと認めます。よって、議案第58号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第59号美祢市税条例の一部改正について、及び議案第60号美祢市都市計画税条例の一部改正については関連がありますので、会議規則第88条の規定に基づき一括議題といたします。執行部より説明を求めます。中嶋税務課長。

○税務課長（中嶋一彦君） 議案第59号美祢市税条例の一部改正について、及び議案第60号美祢市都市計画税条例の一部改正について、一括で御説明申し上げます。

これは、地方税法等の一部を改正する法律、地方税法施行令等の一部を改正する政令及び地方税法施行規則の一部を改正する省令が令和2年3月31日及び令和2年4月30日に公布されたことに伴い、美祢市税条例の一部を改正するものであります。

主な改正内容について、令和2年度地方税制に関する改正を3点、新型コロナウイルス感染症対策における税制に関する改正を3点、御説明いたします。

1点目は、未婚のひとり親に対する税制上の措置及び寡婦控除の見直しに伴う改正です。

これは、全てのひとり親家庭の子どもに対して公平な税制を実現する観点から、婚姻歴の有無による不公平と男性のひとり親と女性のひとり親の間の不公平を同時に解消するための措置を講ずるものです。

所得控除において、ひとり親控除を追加して、未婚のひとり親について寡婦控除を適用するもの、女性の寡婦に男性の寡夫と同様の所得制限を設けるなど、寡婦控除が見直されました。

また、個人住民税の非課税措置においては、対象となる未婚のひとり親について、

児童扶養手当受給者に限定しないこととされました。

これらの措置は、令和３年度分からの個人住民税について適用されます。

２点目は、国税における連結納税制度の見直しに伴う対応のための改正です。

これは、地方税においては、現行の基本的な枠組みを維持しつつ、法人税法において国税の連結納税が廃止となったことにより、通算法人ごとに申告等を行うこととする国税の見直しに併せまして規定の整備及び削除を行うものです。

３点目は、軽量な葉巻たばこの課税方式の見直しに伴う改正です。

これは、国のたばこ税と同様、軽量な葉巻たばこ（１本当たりの重量が１グラム未満）１本を紙巻きたばこ１本に換算する方法とするもので、令和２年１０月と令和３年１０月の２回に分けて段階的に実施されることとなります。

続きまして、新型コロナウイルス感染症対策に係る税制上の措置に伴う改正を３点御説明いたします。

本条例におきましては、いずれも本則の改正はなく、附則のみの改正となりますが、まず１点目は、軽自動車税、環境性能割の臨時的軽減の延長でございます。

これは、令和１０月１日から令和２年９月３０日までに軽自動車を取得した場合、軽自動車税、環境性能割の税率を１％分軽減する現行の特例措置について、その適用期限を６か月延長し、令和３年３月３１日までとする法改正に伴う附則の改正を行うものでございます。

２点目は、議案第６０号との一括説明になりますけれども、中小事業者等が所有する償却資産及び事業用家屋に係る固定資産税及び都市計画税の軽減措置に関するものです。

これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための措置に起因して、厳しい経営環境に直面している中小企業者等に対しまして、償却資産と事業用家屋に係る固定資産税及び都市計画税の負担を軽減するための法改正に伴う附則を追加するもので、令和３年度課税分に限定されます。

３点目は、徴収の猶予制度の特例に係る手続等でございます。

これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和２年２月以降の収入に相当の減少があり、納税することが困難である事業者等に対し、無担保かつ延滞金なしで１年間徴収を猶予できる特例を設けるための法改正に伴う附則を追加するものでございます。なお、基本的に全ての税目が対象となります。

これらの条例の施行日ですが、１点目の未婚のひとり親に対する税制上の措置及び寡婦控除の見直しにつきましては令和３年１月１日、２点目の国税における連結納税制度の見直しに伴う対応につきましては令和４年４月１日、３点目の軽量の葉巻たばこの課税方式の見直しにつきましては令和２年１０月１日及び令和３年１０月１日、また新型コロナウイルス感染症対策に係る税制上の措置につきましては公布の日及び令和３年１月１日となります。

説明は以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 説明が終わりました。本案に対する質疑はございませんか。
岡山委員。

○委員（岡山 隆君） この美祢市の税条例ですけれども、今、いろんな説明がありましたけれども。

特にひとり親家庭におけるひとり親——寡婦控除、こういった控除を見込んで婚姻届を出していない方の子どもさんに対するいろんな税制上の控除が今までずっとされていなくて、貧困の連鎖が発生していた。こういったところを税制の控除をするということで、ようやくこういったことができて一歩前進と思っております。

それで、対象となるこの美祢市で、男性だろうが女性であろうが、未婚で子どもさんを抱えている、こういったところの方が、美祢市にあっては何名の方がそういった方が対象で、大体金額的に、もし算出できれば、どのぐらいの程度の税制優遇があるのか。もし、その点が分かれば、この２点の御説明願いたいと思います。

○委員長（猶野智和君） 中嶋税務課長。

○税務課長（中嶋一彦君） ただいまの岡山委員の御質問でございます。

申し訳ございません。現在、美祢市内の対象人数については、こちらでは把握できておりません。もしあれでしたら、調査を——調べさせていただきまして、御回答させていただきたいと思います。

以上でございます。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） これについては、また別途、機会があったときに説明していただきたい。また、金額の件も大体、所得が基本的には多くはないと思いますけれども、300万円とかそういった——200万円から300万円ぐらいであれば、どのぐらいの寡婦控除が得られるかどうか、この辺も併せて、今調べるのは難しいかも分か

りませんけれども、今後、機会があったときに市民の皆さんにちゃんと説明ができるようにしていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○委員長（猶野智和君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

それでは、これより討論を行います。本案に対する御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 御意見なしと認め、討論を終わります。

それでは、初めに議案第59号を採決いたします。本案について、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 全員異議なしと認めます。よって、議案第59号は原案のとおり可決されました。

続いて、議案第60号を採決いたします。本案について、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 全員異議なしと認めます。よって、議案第60号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第54号令和2年度美祢市観光事業会計補正予算（第1号）を議題いたします。執行部より説明を求めます。千々松観光振興課長。

○観光振興課長（千々松雅幸君） それでは、議案第54号令和2年度美祢市観光事業会計補正予算（第1号）について御説明をいたします。

まず、観光事業は本年4月1日より、地方公営企業法の一部財務規定等を適用しておりますことを御報告させていただきます。

このたびの補正は、今年度を実施を予定しております投資的事業の経費を追加することによるものであります。

まず、収益的収入及び支出の説明をいたします。実施計画明細書を用い、説明をしたいというふうに思います。10ページになります。

まず支出、収益的収入及び支出における支出についてであります。

消費税及び地方消費税を476万円減額しております。建設改良費の追加によるも

のであります。

これにより、支出総額である観光事業費用が5億7,115万3,000円となります。

続きまして、資本的収入及び支出になります。

まず収入についてであります。

建設改良費の財源として企業債を3,080万円、国庫補助金を81万円追加しております。

これにより、収入総額である資本的収入が3,161万円となります。

次に、支出になります。

建設改良費を5,236万円追加しております。内訳についてであります。秋芳洞の通路改修の実施設計、秋芳洞バスターミナル改修実施設計、秋芳洞エレベーター内部コンクリート劣化部改修工事等を行う予定であります。

これにより、支出総額である資本的支出が7,952万7,000円となります。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額4,791万7,000円は、引継現金で補填することといたしております。

以上で説明を終わります。

○委員長（猶野智和君） 説明が終わりました。本案に対する質疑はございませんか。
山中委員。

○委員（山中佳子君） 今回、この予算が認められた場合、実施設計、それから改修工事はどのような日程で行われるようになってますでしょうか。

○委員長（猶野智和君） 千々松観光振興課長。

○観光振興課長（千々松雅幸君） 山中委員の御質問にお答えいたします。

まず、秋芳洞通路改修の実施設計についてであります。

これは、今年度実施設計をするものでありまして、現状におきましては、改修は令和3年度以降、5か年かけて通路の改修をする計画でございます。

秋芳洞バスターミナルの実施設計、今年度実施設計を終え、来年度改修工事をしたいというふうに考えております。

それから、エレベーターの内部のコンクリート劣化部改修工事です。これは、今年度実施する工事でありまして、当初は閑散期というふうに考えておりましたけれども——今年度も閑散期にと思っておりましたが、コロナウイルス対策で、今エレベーターの営業を停止しておりますので、そういったことも考えまして、工期につ

いては、ちょっと調整をさせていただきたいというふうに考えております。

以上になります。

○委員長（猶野智和君） 山中委員。

○委員（山中佳子君） バスターミナルの改修工事に関しまして、広谷近辺の商店街、それから観光協会などへの説明はもう済まされていらっしゃるのでしょうか。

○委員長（猶野智和君） 千々松観光振興課長。

○観光振興課長（千々松雅幸君） 山中委員の御質問にお答えいたします。

このバスターミナルの改修は、バスセンターの上側にあります貸切バス駐車場を——団体のバスを下のほうでも乗り降りできるようにしようという改修計画でございます。

これにつきましては、上の貸切バス駐車場のところで事業をされている方もいらっしゃると思います。そういった方との調整、お話もさせていただいておりますし、商店会の皆様方とは、定例の意見交換会というのを開催させていただいております、その中でもお話をさせていただいているところでもあります。その中には、観光協会の方もいらっしゃると思いますので、そういった方への説明はさせていただいております。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。村田委員。

○委員（村田弘司君） 直接的な質問にならないかというふうに思いますけれども。

今のこの予算説明資料で、これの5ページ、令和2年度の美祢市観光事業予定キャッシュフロー計算書ですが、これによりますと資金の期末残高が6億193万2,000円というふうになっています。

恐らく、先ほど千々松課長から説明がありましたが、コロナの影響というのはかなりあっておると思います。私も大変危惧しておるんですが、キャッシュフロー計算書、期間計算の収益的収支も合わせてですが、このコロナの影響を勘案して、これができているかどうか、これを確認したいんですが。

○委員長（猶野智和君） 千々松観光振興課長。

○観光振興課長（千々松雅幸君） 村田委員の御質問にお答えいたします。

このキャッシュフロー計算書は、あくまでも補正予算書ベースで作成をさせていただいております。

秋芳洞をはじめ、観覧料収入は大幅に今減少いたしておりますけれども、今この段

階で、補正予算に減収の補正というのは上げさせていただいておりませんので、そういったものはこの中には考慮されております。

以上になります。

○委員長（猶野智和君） 村田委員。

○委員（村田弘司君） よく分かります。大変な状況ですので、どうか一生懸命、美祢市観光事業——観光立市の面を美祢市は持っていますので、力を注いでいただきたいと思います。よろしくお願いします。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございませんか。岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 今の点について、最初に私が言おうと思ったら、村田委員が言われましたので、それはそれでよかったなと思っております。

いつも当年度純利益、この視点から見れば9,756万3,000円という形でついております。

毎回、病院事業のときも同じようなことを言ったんですけれども、一応、補正予算的には、収益は基本的には昨年度とあまり変わらない形になっている。

今回も美祢市の観光事業のこういった補正予算額についても、当年度純利益は9,756万3,000円ということになっております。毎回こういう形でして、減額措置のこの補正予算はしないという、こういった視点がなんかいつも、私はあるような形であるなということを感じております。

こういったところを実際、今回、秋芳洞入洞者、この連休の時には閉鎖ということで入らなかった。一番稼ぎどきのときに観光客が来なかった。ということは、これから夏休みにおいても、他県から県をまたいで来るというのも、観光客も非常に見込まれない、一番稼ぎどきのゴールデンウィーク、夏休みに来られないということは、もうかなり、当年度——この令和2年度における純利益というものが恐ろしいぐらいに下がってくるということを恐れております。

そういった面において、そういったことを今回のところで出すのは、行政の立場から見て、なかなかできないとは思いますが、やっぱり、そういった点については、ある程度見越した形での補正予算を示していくことは、私は必要だと思いますけれども、毎回こういったことが同じになっている。ここのところを見直していこうという、そういったお考えがあるのかどうか、この点について伺います。

○委員長（猶野智和君） 波佐間副市長。

○副市長（波佐間 敏君） 岡山委員の御質問にお答えいたしたいと思います。

今回、議員方からも御指摘があるように、新型コロナウイルスに伴って秋芳洞を閉洞し、観光客も今後の見通しも、なかなか明るい話題がない状況になるかと思っていますけれど、新年度に入りまして4月、5月、確かにゴールデンウィークをまたいで一番の稼ぎどきに閉洞をしていたということが、観光収入にとっては大きな痛手であり、減収が見込まれるということは確かだというふうに考えております。

しかしながら、まだまだ今後もその情勢は続いていくというふうに考えられますので、今後、当年度における収支見通しがあらかた、また試算できるような状況になりましたら、その折には営業収入を含めて補正予算を当然上げていきたいというふうに思いますし、今回は、基本的には肉づけ予算の補正予算ということと、コロナに係る補正予算ということでお示しさせていただきまして、収支見通しにつきましては、また今後なお情勢を見極めまして、予算等の見直しをしていきたいというふうに考えております。

よろしくお願いいたします。

○委員長（猶野智和君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） よくその辺の事情は分かります。

いずれにしても、今回のこの補正予算を見ると、当年度純利益は9,756万円ということで、非常に何か嬉しいなという感じで、現実に決算のときにこれだけあれば、これほど嬉しいことはないんですけれども、後々今回の補正——6月における補正予算、純利益がかなりいいですから、逆に次の補正とかでショックをあまりにも受けすぎるなと感じております。

いずれにしても、9月、12月とありますので、そのときに直近の範囲で分かれば、補正予算をちゃんと示して、市民の皆さんにも示していただきたいことをお願いいたします。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

それでは、これより討論を行います。本案に対する御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 御意見なしと認め、討論を終わります。

それでは、これより議案第54号を採決いたします。本案について、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 全員異議なしと認めます。よって、議案第54号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第68号美祢市過疎地域自立促進計画の一部変更についてを議題といたします。執行部より説明を求めます。早田企画政策課長。

○企画政策課長（早田 忍君） それでは、議案第68号美祢市過疎地域自立促進計画の一部変更について御説明をいたします。

このたび、新たに過疎対策事業債の活用を行うため事業の追加を行うものであり、過疎地域自立促進特別措置法第6条第7項において準用する同条第1項の規定により市議会の議決を求めるものであります。

変更内容につきましては、事業内容として、学校教育関連施設その他、事業内容として美東中学校駐輪場整備事業及び給食配送車整備事業を新たに加えるものであります。

説明は以上となります。

○委員長（猶野智和君） 説明が終わりました。本案に対する質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

それでは、これより討論を行います。本案に対する御意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 御意見なしと認め、討論を終わります。

それでは、これより議案第68号を採決いたします。本案について、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 全員異議なしと認めます。よって、議案第68号は原案のとおり可決されました。

以上をもちまして、本会議で付託されました議案7件につきまして審査を終了い

たしました。

そのほか、委員の皆さんから所管事項につきまして何かございましたら、御発言をお願いいたします。坪井副委員長。

○副委員長（坪井康男君） 税務課長が見えていますので、ちょっとお尋ねです。

今、話題の田布施町の職員のパワハラ問題の原点になったのが、被相続人が亡くなった後、相続登記がなされるまでの固定資産税の賦課ということで、免税措置ですかね。それを取らずに、何万円か損害を与えたと。

意味がよく分かりませんので、どういう意味か分かりやすく説明してもらえないでしょうか。

○委員長（猶野智和君） 中嶋税務課長。

○税務課長（中嶋一彦君） ただいまの坪井副委員長の御質問にお答えいたします。

今、初めて坪井副委員長からお聞きした話で、新聞等で内容は存じておりますが、今、手元に資料がありませんので、あまり具体的な説明はできませんけれども。

内容といたしましては、概要を申しますと、固定資産税につきましては、土地の免税点、それから家屋の免税点と、いわゆる土地につきましては30万円の標準課税金額について、30万円までの減免制度というものがあります。家屋につきましては、20万円の減免制度と標準課税金額について20万円までは減免するという制度がございます。

これにつきまして、所有者分とそれから相続人分、いわゆる所有されていた方が死亡された場合、まだ登記はすぐには書かれませんので、その間、いわゆる死亡者については所有者分として課税されます。

それから、相続人分といいますのは、もともとの——例えば親御さんとか祖父母の方が既に死亡されていた場合、息子さん、それからお孫さんが相続しておる場合、登記は変更しておりませんが、相続人分として課税されるという制度があります。

それで、所有者分とその相続分を合算して課税した場合、それから別々に課税した場合では免税点が変わる場合がございます。

今、問題になっていますのは、合算して課税していたために、本来、免税になる税金が免税になってないと。だから、ぎりぎり免税点を超えて課税されていたというのが問題だと思いますので、その辺で、今、新聞に出ている自治体は、それが事

務上のミスを正常に処理していなかったということで問題になっていたということでございます。

すみません、説明があまり上手にできませんので、ちょっと概要としてはそういう内容というふうに把握しております。

以上です。

○委員長（猶野智和君） 坪井副委員長。

○副委員長（坪井康男君） 大変よく分かりました。そういうふうにするなら、本当によく分かります。大変ありがとうございました。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） 竹岡議長。

○議長（竹岡昌治君） それでは、委員長の了解を得ましたので、ちょっと発言させていただきます。

この観光会計、公営企業会計の会計のみを適用するということなんですが、確かに地方自治法上からすれば、予定貸借対照表でいいんですよ。

さっきから、予定の損益についてという質問があったんですが、できれば、予定損益計算書は自治法上には義務づけられておりませんが、議会のほうに提出願えればなと思うんですね。

今、企業会計の全部適用をやっている病院会計・上水・下水、全て予定貸借対照表・予定損益計算書を出していただいているんです。これ、実はもう20年ぐらい前の話ですが、議会のほうが要望して、地方自治法上にはないけど、議員方が議論されるときに、その年度の補正を組んだらどうなるのかというものをより分かりやすく判断できるようにということでお願いをしてずっとやってきたんですが、今回初めてこうした補正が出たときに予定損益計算書が出てないと。

ぜひ、用意はされておると思いますので、出していただきたいと思います。

以上です。

○委員長（猶野智和君） ほかにございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（猶野智和君） ないようでしたら、これにて本委員会を閉会いたします。

御審査、御協力、誠にありがとうございました。お疲れさまでございました。

午前10時22分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

令和2年6月19日

総務企業委員長